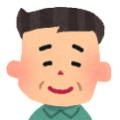
成年後見制度について（その５）

ここでは、成年後見人・保佐人・補助人

の仕事の内容等についてお知らせいたします。

◆　成年後見人、保佐人、補助人の仕事（以下、成年後見人等といいます。）には、次のような人たちが

家庭裁判所で選任されています。

　　　　　　　　親族　　　　　　　　　　　　　　　　専門職　　　　　　　　　　　　　　　　　法人

　　（親・子・配偶者・兄弟など）　　（弁護士、司法書士、社会福祉士など）　　（社会福祉法人、NPO法人など）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **役　割** | 本人の意思を尊重し、本人の心身の状態や生活状況に配慮しながら、本人に代わって財産を管理したり必要な契約を結んだりすることによって、本人を保護・支援します。 | |
| **仕　事** | 財産管理 | 本人の財産の維持・管理 |
| 身上保護 | 生活に関する手配、療養・介護の手配など |

|  |
| --- |
| ※　**成年後見人等の仕事に含まれないこと**  ①　医療行為について同意すること　　②　保証人や身元引受人になること  ③　食事の世話や介護などを直接行うこと　　④婚姻、離婚、養子縁組・離縁、認知の代理、遺言の作成 |

|  |  |
| --- | --- |
| **計画を立てる** | 本人の生活の状況や財産を調べ、本人に　合った生活のしかたやお金をどう使っていくかなどを考えます。 |
| **本人の財産を管理する** | 本人の預貯金通帳などを管理し、　収入や支出の記録を残します。収入(年金、給付等)の受領や支払（福祉サービス料、公共料金、　保険料、税金等）及び諸手続きを行います。 |
| **本人に代わって契約を結ぶ** | 介護・福祉サービスの利用、病院への入院、施設への入所、家の修繕、不動産の売却など必要な契約や手続きを行います。 |
| **お金のトラブルから守る** | 本人が悪質業者にだまされて、必要のないものを買わされるなどのトラブルに巻き込まれた場合には、その契約を取り消すことができます。 |
| **家庭裁判所に報告する** | 家庭裁判所に、成年後見人等として行った仕事の報告をし、必要な指示等を受けます。 |

